

	山口大学 人文科学分野
学部等の教育研究 組織の名称	人文学部（第1年次：185名） 人文科学研究科（M：8名）
沿 革	大正8（1919）年 山口高等学校設置 昭和24（1949）年 山口大学文理学部設置 昭和53（1978）年 文理学部を改組し人文学部設置 昭和60（1985）年 人文科学研究科設置
設置目的等	<p>昭和24（1949）年に、人文社会・自然科学の各分野にわたる総合的な教育や研究に重きを置き、広い基盤に立つ専門教育を行うことを目的として、文理学部が設置された。</p> <p>昭和53（1978）年に、高等教育の普及に対応して、人文諸科学の専門的知識を学び、かつ幅広い教養を身につけた人間性豊かな有為の人材を育成するという時代的・社会的要請に応えることを目的として、文理学部を改組し、理学部とともに人文学部が設置された。</p> <p>昭和60（1985）年に、より広い視野にたつて総合的かつ精深・高度な学識を授け、学術研究の成果をもって社会の要請に応えることを目的として、人文科学研究科が設置された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>【総論】</p> <p>山口大学における人文科学分野においては、真理の探究を図るとともに、山口県を中心とした中国地域における課題解決の役割を果たすべく、教育研究を実施してきた。</p> <p>引き続き、上記の役割を果たしながら、教育及び研究において明らかにされる強み・特色・役割等により、学内における中長期的な教育研究組織の在り方を速やかに検討の上、実行に移す。</p> <p>【教育】 (学部)</p> <p>○ 人文科学の学問分野の教育研究を通じて、人文科学領域の知識を理解し、文献理解力や史資料解析能力を備え、社会の様々な課題を発見・認識し、自ら解決方策を探る能力を有し、広く社会で活躍できる人材を養成する。</p> <p>○ このため、専門の異なる複数教員で行うオムニバス形式の授業やグループディスカッションなどのアクティブラーニング形態の授業を推進し</p>

ている。

- 今後、教員の教育意識を向上させ、学生が卒業時に必要とされる資質や能力を可視化しつつ体系的な教育課程を編成するとともに、ポートフォリオの有効活用により、学生の能動的学習を促す教育の実施や組織的な教育体制等を整備する。また、これらの取組の実施だけではなく、可視化した資質や能力に応じた取組の成果や効果等を適切に把握していくことにより、学士課程教育の質的転換に取り組む。

(大学院)

- 人文科学領域の幅広い視野、高度な専門知識、洞察力や構想力を備え、社会の様々な課題を発見・認識し、自ら解決方策を探る能力を有する専門職業人を養成する。
- 今後、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制の充実・強化を通じ、大学院における当該分野の強み・特色を明確にする。

【研究】

- 歴史学・考古学・文学・民俗学等に関する研究実績をいかし、山口地域の歴史的、文化的な固有性と普遍性を学問的に解明するとともに、東アジアを含む異文化社会との比較研究を行うなど、地域文化の継承と発展に寄与している。
- 今後、地域との連携を図り、総合的な研究を組織的に推進するとともに、山口県を中心とした中国地域の課題解決・文化の発展に組織的に取り組む。

【その他】

- 全学的な機能強化を図る観点から、18歳人口の動態や社会ニーズを踏まえつつ、学部・大学院の教育課程及び組織の在り方、規模等の見直しに取り組む。また、大学院の定員未充足の改善のため、魅力あるカリキュラムの再構築、定員規模の見直し等に取り組む。